

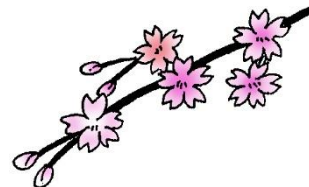
～もうすぐ1年生～

5歳児さくらさんはもうすぐ1年生。

さくらさんたちは、そら、やまの部屋で3歳児さん4歳児さんたちと共に生活をし、小さい子たちから憧れられたり、自分の持っている力を貸してあげたり、時にはケンカしたりしながら育ち合ってきました。そして、友だちの気持ちを感じとり、仲直りする喜び、人として生きる土台を築いてきた子どもたちです。これから先、いろいろなことがあって落ち込むこともあるかと思いますが大丈夫。子どもたちは、生活力や考える力、人と共に力を合わせてやっていく喜びをたくさん培って来ました。

さくらさんたち、小学校に行っても、友だちとたくさん遊び、勉強し、命を大切に、そして、お家のお手伝いもやって、毎日元気にすごしてください。

卒園そして小学1年生、おめでとう！



子どもたちにもう一人保育士を！

「新型コロナウイルス感染症」ということが社会問題となり3年目となりました。保育所の相次ぐ休園の対応で名古屋市は、「職員が複数感染又は濃厚接触になるなど保育体制が確保できない場合や、濃厚接触の特定に時間がかかる場合を除いて、原則休園を行わず、保育を継続する」という方針を出しました。保育所が休園し保護者の皆様が困ることへの対応はいいと思いますが、保育所で働く職員の、日々緊迫したこの状況で働いていることに心を寄せて欲しいと考えています。

この間全国の保育園では、コロナ禍の下での自粛保育で通常保育の4割、5割の園児の保育等を経験し、現場からは半分くらいの園児数ならゆとりを持って保育ができるという体験が出来たという声が多数寄せられました。同時に、通常保育に戻ると、狭い保育室で3密回避が困難で悪戦苦闘、園庭が無いと狭い部屋で3密状態等が毎日作られ、保育士が不安になっている状況が出されています。あらためて、職員配置や園庭、保育室などの配置基準等が問われ始めました。

保育士の配置基準や、園庭や保育室の面積基準は、1948年制定され、その後ほとんど改正されず、保育士の配置基準はとても厳しい状態に置かれています。

いま「子どもたちに、もう一人保育士を！」というスローガンを掲げ、実行委員会を立ち上げ保育士配置基準の改善に向けて様々なアクションを取り組んでいく事を開始しました。まずは、多くの人に保育士配置基準に対する声を集め、世の中に発信して行きます。是非、アンケートへの協力をお願いします。



アンケートの締め切りと回答方法

第1次〆切 2022年3月4日(金) / 最終〆切 2022年3月31日(木)

- 以下のQRコードからGoogleフォームにてアンケートにご回答ください。
- エssenシャルワーカー賃上げについてのアンケートにも、合わせてお答えいただくと幸いです。

保育士配置基準を考えるアンケート



エssenシャルワーカー賃上げアンケート

